

日米投信週次概況(2024年4月3日週)

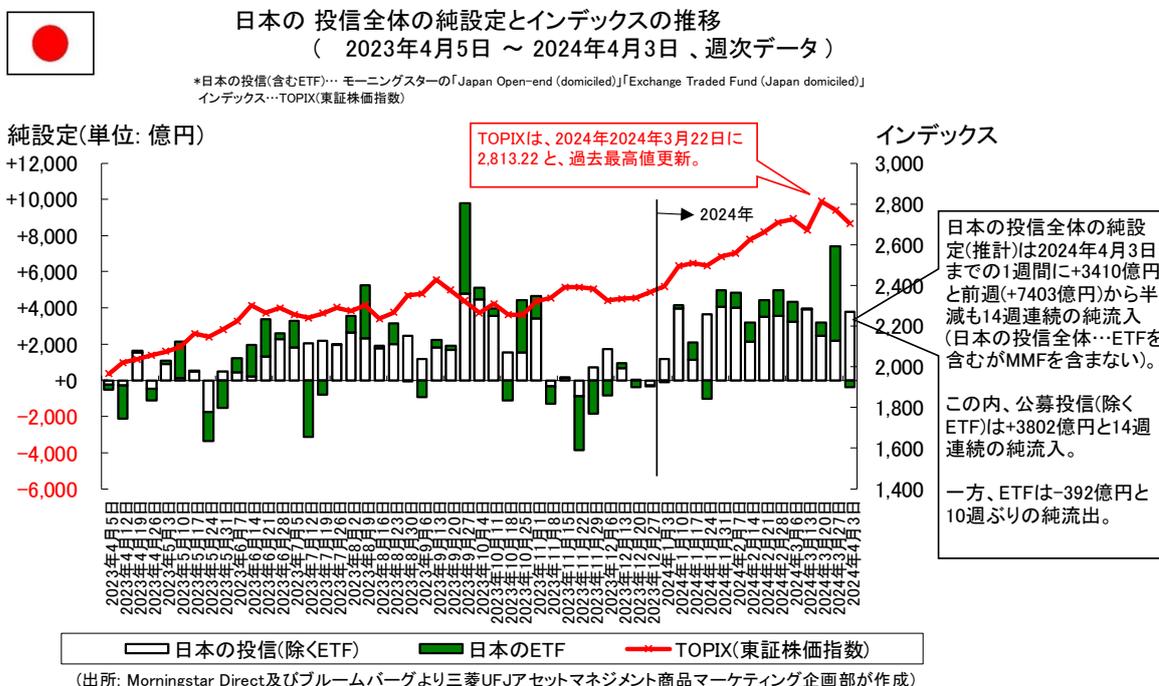
日本ではNISAが寄与して北米株ファンドは3か月で昨年純流入超え
米国ではハイテク株(テクノロジー株)が寄与して米国株ファンドに純流入
～世界の半導体関連株式ファンドに過去最大級の純流入～

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部 松尾健治 (kenji-matsuo@am.mufg.jp)
 窪田真美 (mami-kubota@am.mufg.jp)

- 日本ではNISAが寄与して北米株ファンドは年初来純流入+1.8兆円と昨年純流入超え
 ～NISA対象ファンドは低コスト株式インデックスファンド、半導体関連株式ファンド、インド株式ファンドが人気～p.1
- 米国ではハイテク株(テクノロジー株)が寄与して米国株ファンドに純流入
 ～世界の半導体関連株式ファンドに過去最大級の純流入～p.3

●日本ではNISAが寄与して北米株ファンドは年初来純流入+1.8兆円と昨年純流入超え
～NISA対象ファンドは低コスト株式インデックスファンド、半導体関連株式ファンド、インド株式ファンドが人気～

日本の投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2024年4月3日までの1週間に+3410億円と前週(+7403億円)から半減も14週連続の純流入(日本の投信全体…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。この内、**公募投信(除くETF)は+3802億円と2024年始まってから14週連続の純流入**。一方、ETFは-392億円と10週ぶりの純流出となった。



年始から純流入が続く公募投信(除くETF)について最新4月3日週の純設定額を分類別に見る。**純流入1～5位は北米株、グローバル株、グローバル株-日本を除く、インド株、日本株大型ブレンド**。**1位の北米株は+1554億円と、2024年の週次ベース平均+1316億円を上回る純流入が継続**。年初来合計で北米株は1.8兆円と、4月3日時点で、既に昨年2023年の総額約1.7兆円を超え、昨年を大きく上回るペースで増えている。

日本の投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順) 2024-04-03現在
 *ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
上位 10 分類 ↑	1 North America Equity	+155,415	+97,561	+495,729	18,034,500	北米株
	2 World Equity	+59,413	+74,478	+259,580	23,556,279	グローバル株
	3 World ex-Japan Equity	+42,194	+15,334	+106,258	10,136,127	グローバル株-日本を除く
	4 India Equity	+30,955	+30,171	+134,228	2,826,037	インド株
	5 Japan Large-Cap Blend Equity	+22,332	-14,640	+88,809	9,760,332	日本株大型ブレンド
	6 Trading - Leveraged/Inverse Equity	+14,065	-18,366	+6,527	654,313	トレーディングレバレッジド/インバース株
	7 Moderately Aggressive Allocation	+13,834	+11,432	+40,328	3,870,282	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
	8 Moderate Allocation	+9,652	+8,138	+21,945	3,381,370	モデレート・アセットアロケーション
	9 Japan Large-Cap Value Equity	+9,164	+8,350	+41,577	371,322	日本株大型バリュー
	10 World ex-Japan Bond	+8,272	+5,543	+26,053	2,898,041	グローバル債-日本を除く
↓ 下位 10 分類	84 Japan Small/Mid-Cap Growth Equity	-919	-3,287	-8,729	807,537	日本中小型グロース株
	85 Risk Control Allocation	-1,261	-4,932	-14,149	1,314,549	リスク・コントロール・アセットアロケーション
	86 World Bond - JPY Hedged	-1,807	-1,064	-8,752	1,679,954	グローバル債-円ヘッジ
	87 World Other Equity	-1,843	-3,960	-11,825	933,574	その他グローバル株
	88 Japan Bond - Short Term - Bond IT	-1,980	-1,361	-5,758	473,197	日本債-短期-公社債
	89 Other Allocation	-2,074	-2,689	-11,379	757,735	その他アロケーション
	90 North America Equity - JPY Hedged	-3,706	-3,292	-15,706	936,899	北米株-円ヘッジ
	91 Japan Money Market	-3,731	+335	-4,784	44,358	日本マネー
	92 World Equity - JPY Hedged	-4,342	-6,950	-29,236	1,406,422	グローバル株-円ヘッジ
	93 Japan Large-Cap Growth Equity	-16,343	+1,958	-14,075	1,419,877	日本株大型グロース
全93分類の合計		+380,243	+216,321	+1,233,560	120,307,887	
指数名		リターン※ 最新週 (%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		-2.42	+1.76	+0.04		
S&P500		-0.69	+0.48	+2.19		
MSCI ワールド		-0.72	+0.69	+1.81		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

日経平均株価が2024年3月22日に40,888.43円と史上最高値更新となる中、日本株大型ブレンドは3月20日週に-44億円と5週ぶり純流出となった。翌3月27日週は-146億円と純流出が加速したが、最新4月3日週は+223億円と3週ぶりの純流入(日本では日本株高時に利食い投信解約が多い〜2023年の年間については、2023年12月25日付投信調査レポートNo.406「米国の2023年投信純流入トップはS&P500ファンド！ブラックロックとバンガードとフィデリティが覇巻!」〜 https://www.am.fj.com/report/investigate/report_231225.pdf)

ティが覇巻!〜 https://www.am.fj.com/report/investigate/report_231225.pdf)

引き続きNISA/少額投資非課税制度が大きな買い材料となっている

(2024年1月29日付日本版ISAの道 その395「日本の1月効果と英国の4月効果の除にNISAとISA?」〜ファンドマネジャーやストラテジストが調査・分析をする世界のファンドフローと規制・制度〜 https://www.am.fj.com/report/investigate/column_240129.pdf、2024年4月8日付日本版ISAの道 その399「英国のISA改革とアドバイス改革〜国内株投資を促す新ISA「プリティッシュ・アイサ」、コンシューマー・デューティに沿う年金改革、アドバイ評価ツール、ソーシャル・メディア規制〜」 <https://www.am.fj.com/report/investigate/>)

モーニングスター・ジャパン(2023年9月29日設立のイボットソン・アソシエイツ・ジャパン100%子会社)が2024年4月4日に「NISA概要レポート 2024年第一四半期」というレポートの中で、1〜3月のNISA対象ファンドについて「低コストの株式インデックスファンドや、半導体関連株式ファンド、インド株式ファンドなどが人気だった。」と言っている

(2024年4月4日付モーニングスター・ジャパン「NISA概要レポート 2024年第一四半期 投資家の支持を集める2ファンド 高評価ファンドも投資家の支持を得る」 <https://ibotson.co.jp/research/data/articles/>、2024年4月5日付時事ファイナンシャルソリューションズ「低コスト・インデックスファンドに資金流入=『貯蓄から投資をけん引』と評価-モーニングスターがNISAレポート」 <https://financial.jp.com/long-investment/article.html?number=211>、モーニングスター・ジャパンについて…2023年10月10日付日本版ISAの道 その388「資産運用に関するタスクフォースと資産運用立国分科会(評備会社、EMP、未上場株投信、資産運用フォーラム、企業年金改革)〜日米英の家計金融資産における投信と年金の調査・分析〜」 https://www.am.fj.com/report/investigate/column_231010.pdf)。低コストの株式インデックスファンド、半導体関連株ファンドを含むテクノロジー株ファンド、インド株式ファンドについては、これまでの投信調査コラム(日本版ISAの道)や投信調査レポートを参照の事(低コストの株式インデックスファンド…2023年4月17日付日本版ISAの道 その378「世界のファンド手数料〜新NISAを前にインデックスファンドの低コスト競

争再燃! 日本で投信調査を本格化するモーニングスター〜 https://www.am.fj.com/text/column_230617.pdf、テクノロジー株ファンド…2023年6月5日付投信調査レポートNo.397「日本でインド株ファンドに純流入が加速、米国でテクノロジー株ファンドに過去最大の純流入!!」 https://www.am.fj.com/text/column_230617.pdf および2024年3月11日付投信調査レポートNo.411「日本では北米株が純流入トップ、2024年は既に約1.3兆円! 米国では債券が3年ぶり大きな純流入! ハイテク株の巨額純流出はインデックス・リバランスでのキャピタルゲイン発生を回避する為」 https://www.am.fj.com/report/investigate/report_240311.pdf、インド株ファンド…2023年8月21日付投信調査レポートNo.401「日米投信週次概況(2023年8月16日週) インドの資産運用業にブラックロックが復帰、フィデューシャリー・デューティで日本や米国に先行するインド! 日本では好パフォーマンスのインド株ファンドに47週連続純流入!!」 https://www.am.fj.com/report/investigate/in/files/csl/2023/08/21/column_230821.pdf)

●米国ではハイテク株(テクノロジー株)が寄与して米国株ファンドに純流入 ～世界の半導体関連株式ファンドに過去最大級の純流入～

米投信全体の純設定/資金フロー(推計)は、2024年4月3日までの1週間に+194億^{ドル}/約2.9兆円と8週連続の純流入(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。この内、**米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは+9億^{ドル}/約1403億円と8週ぶりの純流入**。ETFも+185億^{ドル}/約2.8兆円と8週連続の純流入となった(継続的なミューチュアルファンドの純流出とETFの純流入

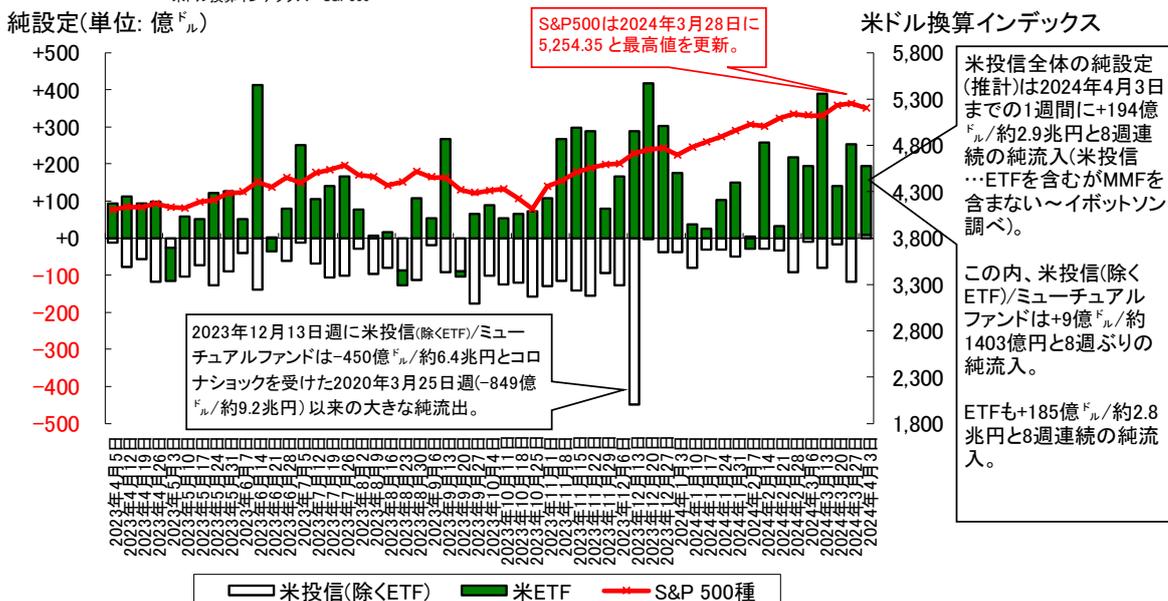
にはミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 その391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増！」～ https://www.am.mifc.jp/report/investigate/column_231127.pdf)o



米国の投信全体の純設定と米ドル換算インデックスの推移
(2023年4月5日～2024年4月3日、週次データ)

*米投信(ETFを含むがMMFを含まない)…モーニングスターの「US Open-end & ETF ex MM ex FoF」。

米ドル換算インデックス…S&P500



(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

*米モーニングスターが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

2024年4月3日週の投信全体純設定額を分類別に見る。米国株は+26億^{ドル}と6週連続の純流入。セクター株は+4億^{ドル}と4週連続、外国株は+2億^{ドル}、コモディティは+6億^{ドル}とともに2週ぶりの純流入。債券は+136億^{ドル}と16週連続の純流入と加速傾向。

より投資対象を細かく見る。米投信(含むETF、除くMMF)の分類別純設定額は次頁の通り。純流入1～3位は米国大型ブレンド株(S&P500連動など)、米國中長期コア債、米國中長期コアプラス債。日本株は10位。



米投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)

2024-04-03現在

***ETFを含むがMMFを含まない。 週次推計の為、月次のものとは異なる。**

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
1	Large Blend	+4,248	+9,540	+32,941	4,002,991	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
2	Intermediate Core Bond	+3,258	+1,634	+9,407	640,565	米国中長期コア債
3	Intermediate Core-Plus Bond	+2,196	+515	+4,895	576,833	米国中長期コアプラス債
4	Foreign Large Blend	+1,409	-256	+4,500	965,563	外国大型ブレンド株
5	Mid-Cap Blend	+1,388	+1,032	+3,296	356,793	米国中型ブレンド株
6	Corporate Bond	+979	-1,437	-310	156,439	社債
7	Long Government	+958	+530	+1,308	120,274	米国長期国債(6年超)
8	Ultrashort Bond	+790	+371	+340	295,044	米国超短期債
9	Intermediate Government	+741	+886	+2,918	195,036	米国中長期国債(4-6年)
10	Japan Stock	+734	-196	+834	38,261	日本株
15	Technology	+548	+1,269	+3,593	322,630	米国テクノロジー株
30	Financial	+225	+166	-116	72,418	金融株
70	Equity Precious Metals	+1	+57	+79	30,474	貴金属株
112	Global Large-Stock Growth	-249	-66	-508	253,918	グローバル大型グロース株
113	Foreign Large Growth	-288	-875	-1,643	382,388	外国株大型グロース株
114	Trading--Leveraged Debt	-311	+531	+183	4,813	トレーディングレバレッジ債券
115	Trading--Leveraged Equity	-373	-367	+3,106	89,806	トレーディングレバレッジ株式(ブル型)
116	Diversified Emerging Mkts	-433	-203	-8	541,585	グローバル・エマージング株
117	Foreign Large Value	-498	-242	-1,334	157,229	外国株大型バリュー株
118	Health	-542	-797	-1,743	135,722	ヘルスケア株
119	Small Growth	-836	+303	-428	183,026	米国小型グロース株
120	Large Growth	-1,344	-579	+1,403	1,953,899	米国大型グロース株
121	Large Value	-1,633	-909	-2,382	1,359,651	米国大型バリュー株
全121分類の合計		+19,420	+13,695	+76,388	18,602,631	
指数名		リターン※ 最新週 (%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		-2.42	+1.76	+0.04		
S&P500		-0.69	+0.48	+2.19		
MSCI ワールド		-0.72	+0.69	+1.81		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

…2024年4月5日付バロンズに取り上げられた「分散化のメリットがある、米国との相関が低い」ファンド市場。

米国テクノロジー株が15位。米国テクノロジー株ファンドは最新2024年4月3日週に+5.5億ドル/約831億円と4週連続の純流入

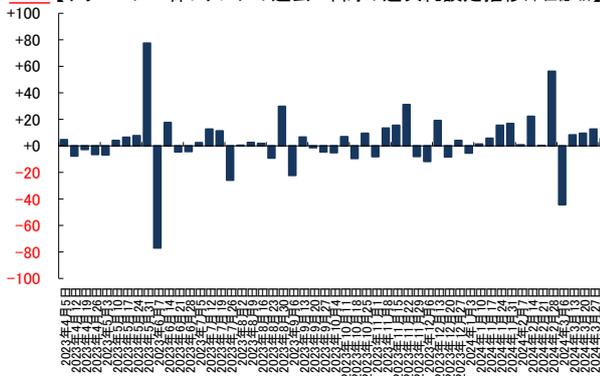
入、米国ではミューチュアルファンドよりETFが人気…2023年11月27日付日本版ISAの道 その39「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増! 米国はミューチュアルファンド・コンバージョン(転換)が寄与…米国と日本のアクティブファンドとパッシブ(インデックス)ファンド」

https://www.am.fj.com/report/investigate/okomn_231127.pdf。 2024年4月5日付ライター

は「BofAグローバル・リサーチによると、第1・四半期のハイテク株への資金流入は186億ドルに達し、四半期としては過去3番目の大規模な流入となった。BofAがEPFRのデータを引用して発

表した世界市場からの資金流入・流出に関する週次報告書によると、3日までの週は、ハイテク株に加え、キャッシュ(現金や現金同等物)や債券にも多額の資金が流入。マネー・マーケット・ファンド(MMF)には過去13週間で最大となる818億ドルが流入した。…(略)…。3日までの1週間で、株式全般への流入は142億ドル、このうち11億ドルがハイテク株に向かった。」(強調下線は当レポート筆者、2024年4月5日付ライター「第1四半期のハイテク株への資金流入、過去3番目の大ききBofA」~ <https://jp.reuters.com/markets/japan/funds/UTRLASDFVJGJON7G8ASKSLYR7XZBE-2024-04-05/>)と言う。

【テクノロジー株ファンドの過去1年間の週次純設定推移(単位億ドル)】



(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

モーニングスター・ダイレクト/Morningstar Directで世界の半導体関連株式ファンドの月次フローを見た。 **世界の半導体関連株式ファンド(ETF含む)の純設定(推計)は2024年3月に+36億ドル/約5520億円と、2022年1月(+37億ドル)に並び過去最大級の純流入である** (ETFが+33億ドル/約5030億円と過去2番目の大きさ、米国ではミューチュアルファンドよりETFが人気…2023年11月27日付日本版ISAの道 その391「アクティブ運用型ETFが米国

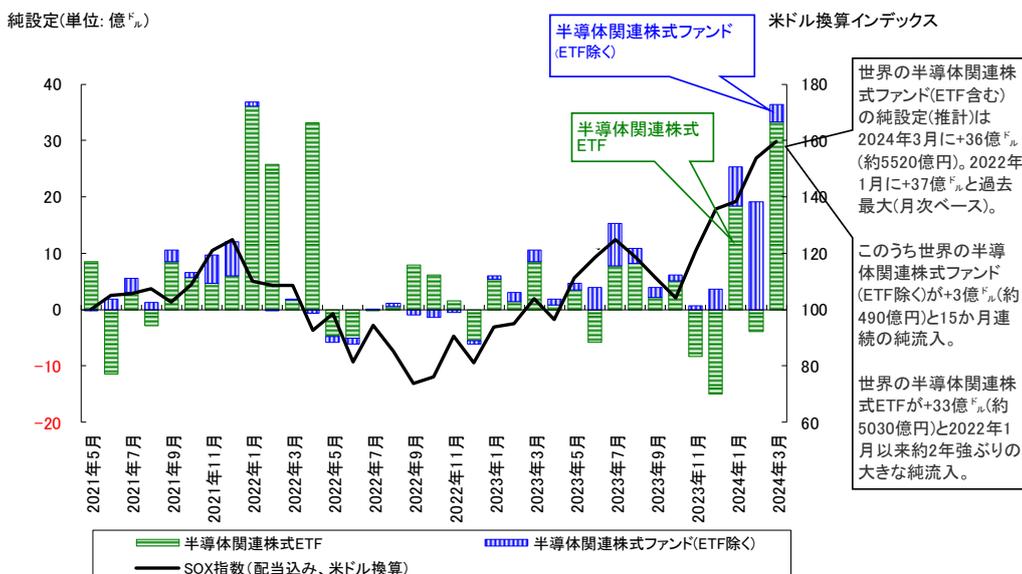
を中心に世界で急増！ 米国はミューチュアルファンド・コンバージョン(転換)が寄与～米国と日本のアクティブファンドとパッシブ(インデックス)ファンド～ https://www.am.mufg.jp/report/invest/soham_231127.pdf)



世界の半導体関連株式ファンドの純設定と米ドル換算インデックスの推移
(2021年5月 ～ 2024年3月 、月次データ)

*半導体関連株式ファンド…ファンド・ベンチマーク名に「Semiconductor」含む、オープン・エンド・ファンドとクローズド・エンド・ファンドとETF。

インデックス…SOX指数(配当込み、米ドル換算)(開始時点=100)。



(出所: プルームバーグMorningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

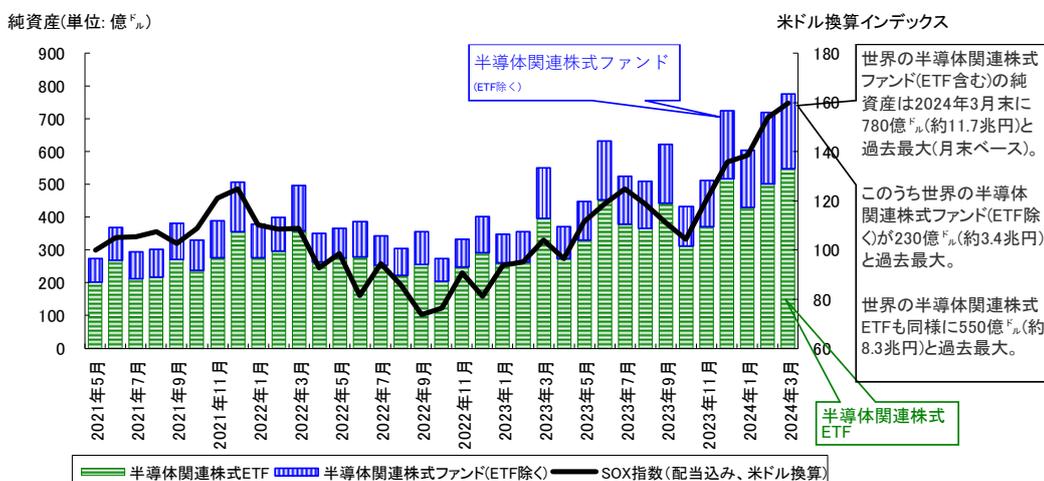
世界の半導体関連株式ファンド(ETF含む)の純資産は2024年3月末に780億ドル/約11.7兆円と過去最大(月末ベース)。
このうち半導体関連株式ファンド(ETF除く)が230億ドル/約3.4兆円と過去最大、半導体関連株式ETFも同様に550億
ドル/約8.3兆円と過去最大となっている。



世界の半導体関連株式ファンドの純資産と米ドル換算インデックスの推移
(2021年5月 ～ 2024年3月 、月次データ)

*半導体関連株式ファンド…ファンド・ベンチマーク名に「Semiconductor」含む、オープン・エンド・ファンドとクローズド・エンド・ファンドとETF。

インデックス…SOX指数(配当込み、米ドル換算)(開始時点=100)。



(出所: プルームバーグMorningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

ただ、2024年4月5日付バロンズ/Barron's(投資家のバイブルと称される米国の週間金融専門誌)などは「富の拡大: S&P500を超える株式ファンド/Spread the Wealth: Stock Funds That Go Beyond the S&P 500」という見出しで次の様に報じている。「バンガード・グループ/Vanguard Groupの創設者ボーグル氏はインデックス投資を擁護したが、分散投資も重要だと考えていた。 **今や、S&P500指数を構成する主要銘柄は人気が高過ぎて指数を独占、大半は同指数の30%を占めるテクノロジーセクターの銘柄だ。** 指数が高テク銘柄に集中したのは、ドットコムバブルがはじける2000年が最後だった。さらに、現在市場を牽引する『**マグニフィセント・セブン**』の中でも最も評価の高い3社、**アマゾン/Amazonとメタ・プラットフォームズ/Meta Platformsとアルファベット/Alphabetは、S&P500では高テク銘柄ではなく、消費者関連株および通信銘柄に分類されている。** その為、**公式の高テク銘柄のウェイトでは、このセクターの影響が過小評価されている**と、GMOの資産配分共同責任者ベン・インカー/Ben Inker氏は言う。『市場は、ここ半世紀以上で経験したことのないほど集中している』…(略)…。真の株式分散投資を実現するには、リスクを冒して違った考え方をする必要がある。その1つの方法は、**高テクへのエクスポージャーがほとんどないか、まったくない株式ファンドを探すこと。** もう1つは、S&P500との相関が低いファンドを見つけることだ。」(強調下線は当レポート筆

者、2024年4月5日付Barron's「Spread the Wealth: Stock Funds That Go Beyond the S&P 500」～ <https://www.barrons.com/articles/stock-funds-magnificent-seven-s-and-p-500-as-it-goes-post-bubble>)。「**マグニフィセント・セブン株/Magnificent Seven stocks**」はAlphabet(Google子会社)、Apple、Meta Platforms(旧Facebook)、Amazon、Microsoftの「GAFAM」にTeslaとNvidiaを加えた主要テクノロジー/高テク企業7社で、エヌビディアが「**マグニフィセント・セブン株/Magnificent Seven stocks**」にある。バロンズでは、分散化メリットがある米国との相関が低い株式ファンド市場として「**貴金属**」、「**ヘルスケア**」、「**金融サービス**」、「**日本**」などをあげている。

高テク、特に世界の半導体関連の一層の成長を信じるか、それとも高テクへのエクスポージャーがほとんどないか、まったくない株式ファンドを探すべきか、悩む所だ。

悩む場合は、長期積立(分散)投資であれば、仮に今がITバブル・ピークとしても4年弱で利益となる事もある(ITバブル・ピークからの積立試算…2022年1月17日付日本版ISAの道 その349「つみたてNISAで人気の米国株ファンド 米国株の積立投資はITバブル・ピークから始めても4年弱で利益、リーマン・ショック前から始めても3年で利益!～多様な資産・投資期間・終了時期で積立投資の有効性を検証～」～ https://www.ammf.or.jp/text/ishirase_220117_2.pdf)。この場合、**長期積立(分散)投資をしっかりと投資家は理解し(投資家に理解してもらって)、継続する事(投資家に継続してもらう事)により、悩みを解決する事が出来るかもしれない**(積立投資のフォローアップと理解…2022年8月8日付日本版ISAの道 その362「積立投資のフォローアップ、プロダクトガバナンス、フィデューシャリー・デューティ～資産形成層がネットで積立投資を急増中、積立投資を期間・開始時・終了時(出口)を変え検証～」～ https://www.ammf.or.jp/text/ishirase_220808_2a.pdf)。2023年1月16日付日本版ISAの道 その372「資産所得倍増プラン元年! 新NISAの主役は積立!! 複利やシミュレーションの盲点など教育・アドバイスが今一層必要な時」～ https://www.ammf.or.jp/text/ishirase_230116_3a.pdf)。

先の日経ヴェリタスも編集後記に「**一部の高テク株がけん引役となり、2000年にかけての『ITバブル』と似ているようにも見えます。** **ただ、旧知の証券マンは『長期投資の個人はあまり気にする必要はない』と笑いました。** **世界最大の資産運用会社、米ブラックロックのラリー・フィンク会長が正解を教えてくれたような気がします。** **日経ヴェリタス掲載のインタビューで『長期にわたり市場にとどまる人が勝者となる』と指摘。** **足元の株価動向に惑わされることなく、『良いときも悪いときも市場にいる方が良い』とも。** **もし相場の下落局面がきても(今から備えているわけではありませんが)、個別銘柄をじっくり探す大切さを意識したいと思います。」**(強調下線は当レポート筆者、2024年4月7日付日経ヴェリタス1～4面/日本経済新聞「半導体株 終わらない宴、生成AI、プロもなお強気実力を検証」～ <https://www.nikkei.com/article/DCKZQ13012C10R00C214400000/>)とある通りである。

以 上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部

松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、

窪田 真美(mami1-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指数について

■TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

■MSCI ワールド インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会